

# WITH A WILL

2018 夏 Vol.37  
春日部中央総合病院

## 病院理念

愛し愛される病院

## 基本方針

- 求められる医療の実践  
24時間、より早く安心安全な診療
- 地域連携推進  
地域に密着した医療の提供
- 医療人としての質の向上  
医療人の自覚と技術向上への教育

## 皮膚科について、 知っておいていただきたいこと

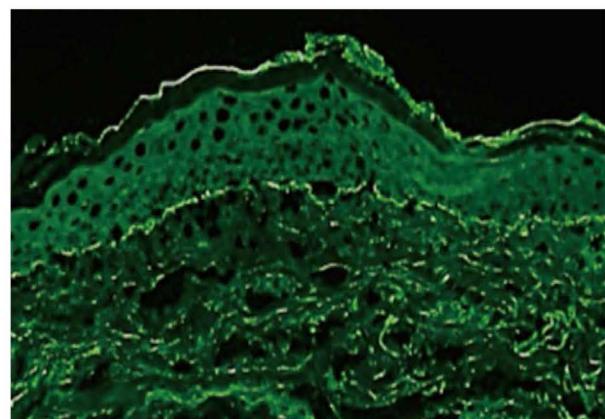
皮膚科部長 中村 哲史

みなさんは知らないかもしれません、皮膚は体重の13%を占める人間最大の臓器です。皮膚は外界からの刺激や、化学物質を防御するだけでなく、皮膚に入った異物を免疫細胞が除去したり、脂肪組織としてエネルギーを蓄えたり、汗をかいて体温調節をしたり、脂腺から油を分泌し皮膚の潤いを維持したりと、多くの働きも持っています。

さて、そんな皮膚に起こる病気は、皮膚細胞以外に、免疫細胞、血管細胞、真皮コラーゲン線維、汗腺、末梢神経、など皮膚に存在する付属器から発生するだけではありません。皮膚の病気をきっかけとして、膠原病や、糖尿病、遺伝性疾患や、消化器病、場合により結核や梅毒などが見つかることもあります。こうなると、皮膚科医は実は、シャーロックホームズのように、わずかな皮疹も見落とさずに、「ワトソンくん、この患者には、苔癬があるが、正常皮膚色であり、下腿に発生しているから、血液のアミロイドや血糖値を調べると、よりはっきりするよ」というような一種の名(迷?)推理を行えるわけです。さらに皮膚は外界に接していますから、「この患者さんの皮膚をいただき、顕微鏡で観察したらどのような病気かはっきりするのではないか」というように直接の病理検査も行えます。いずれにせよ、迷推理を働かせ、皮膚の病気を短期間で診断し治せたときは、皮膚科医の醍醐味とも言えます。患者さんには、ぶっきらぼうにしても、内心「よし」と思っているのです。

しかし、毎日そんな甘いものではなく、皮膚病の利点である「目で見える」ことが仇となり、患者さんが自分の皮疹を見て「先生、この赤いのは全然治らんけど、くすりがあってないんじゃない?」とか、逆にご指導を受けることも。こんなときは深呼吸して、再度皮疹を見直します。「診断に間違いはない、では?」となることがしばしばで、毎日孤軍奮闘しておりますが、1日でも早く回復できますように、日々奮闘しています。

皮膚の生まれ変わりは少なくとも最低一ヶ月はかかるため、皮膚病は長いおつきあいとなる患者さんが多くなってきます。春日部は小学校から高校まで過ごした地元でもあり、近隣の皆様の皮膚の健康に役立つよう外来に当たらせていただきます。



# 新任医師紹介

## 滝徹哉 医師

平成30年4月より外科・消化器科に赴任しました滝徹哉と申します。3月まで同じ埼玉県熊谷市で消化器外科を中心に診療を行ってきました。一般外科・消化器疾患でお困りのことがありましたら、お気軽にご相談ください。よろしくお願ひいたします。

## 高橋 澄加 医師

平成30年7月から外科・消化器科へ着任いたしました、高橋澄加と申します。患者様との会話を大切に診察させていただきたいと思います。これから春日部の医療に貢献できるよう精一杯頑張りますので、よろしくお願ひいたします。

## 施徳全 医師

私は日本の医師免許を取得し、この病院で2年間の初期研修を終え、今年4月に整形外科に着任した施徳全と申します。研修期間、各方面から多大な御指導と御支援を戴き、順調に研修生活を送ることができました。これから微力ですが、引き続き地域医療のため貢献していきたいと思います。何卒宜しくお願ひ致します。

## 小野寺 太史 医師

この度、緩和ケア内科を新設し、常勤医師として着任しました小野寺太史と申します。当病院で初期研修を終え、埼玉県立がんセンター緩和ケア科で2年間研修をしてまいりました。春日部では、入院患者様の症状緩和はもちろん、近隣の緩和ケア訪問診療にも力を入れ、在宅で自分らしく過ごしたいという患者様を応援していきたいと考えております。また、患者様のご家族も大切に考えておりますので、お気軽に相談していただけたらと思います。



## 平成30年度 春日部市特定健康診査

### 予約方法

#### お電話での場合

**048-736-1221(代表)**

〈受付時間〉月曜～金曜／9:00～17:00 土曜／9:00～12:00

#### ご来院での場合

〈予約場所〉 特定健診特設窓口

〈持ち物〉 ① 受診券を含む必要書類

※必要書類は、ご記入の上、お持ち下さい。

② 当院の診察券 (初診の方もご予約を承ります)

③ 健康保険証



〈対象者〉 春日部市在住40歳以上の方

〈実施期間〉 平成30年6月1日(金)～  
平成30年10月31日(水)

〈実施時間〉 [月曜日～金曜日]  
午前／ 8:30～11:30(完全予約制)  
午後／ 14:00～15:30(要予約)  
[土曜日]  
午前／ 8:30～11:30(完全予約制)



※例年、9月以降は大変混み合います。  
6月～8月のご予約をお勧め致します。

※駐車場に限りがございますので、公共交通機関をご利用下さい。

※日曜日の午前中も完全予約制にて実施している場合もございますので、詳しくはお問い合わせ下さい。

# MRIと体重と室温



MRI検査を受ける際、スタッフから「体重」と「身長」を尋ねられると思います。また、検査を受けたことがある方なら、撮影室が季節問わず肌寒いと感じられる方が多いかと思います。(暑がりの私は暑い夏の時期は撮影室に入るとホッとしてします)

実は、それぞれ関係のある事なのです。MRIは磁力の力を使って撮影する検査となっています。詳しく紹介するには難しい原理の説明となるのでここでは、割愛いたしますが。ただ、体を磁石の中(静磁場)に入れるだけで情報が得られる状態になる訳ではなく、ラジオ波を体に照射して、それにより情報を取り出せる状態にしています。(厳密には傾斜磁場というのも利用しています。因みにこれがうるさい「音」の原因になっています。)

ラジオ波は体に吸収されると「熱」を生じます。この熱が体にとっては、「不都合」な物なのです。体重80Kgの人と40Kgの人が同じ60Kgの条件でラジオ波を照射されたらどうなるでしょう。ご家庭で電子レンジを利用して調理する時の事を思い浮かべていただけたら、想像しやすいのではないかと思います。(加熱しすぎや加熱不良になりますよね…まあ食べ物なら「熱々」でも「ぬるい」で

も食べられればそれで良いのですけど。)

MRIの場合はラジオ波が弱い場合、発熱は抑えられますが画像に影響が出てしまいます。(信号が弱くなってしまうのです。)、強ければ、体温が上昇しちゃいます。安全に良好な画像を得るために体重(体形)にあった、ラジオ波を当てる必要がある訳です。

MRIでは、主に実際に人体が吸収する熱量「SAR」(吸収比率 W/kg)とラジオ波(RFパルス)の強さをB1+ RMS(高周波強度 μ/T)という、二つの数値で評価コントロールされています。それでも、発熱が無い訳ではありませんので、撮影室は「気温」「湿度」は低く設定し、トンネル内に緩やかに風を通して体に熱がこもる事を防いでいるのです。(機械的には被検者が検査時に入っていくトンネル内の気温が25°C以上になると画面に警告が出てしまいます。)

「熱」の感じ方には個人差があり、必ずしも「暑く」感じる事がある訳ではありませんが、安全上の理由により室内が肌寒くなっている事をこの場を借りてご理解いただけますと幸いです。

## 夏の冷えに! 座ってできる 簡単体操



### ストレッチ

ストレッチは床に座って行います

- 両膝を伸ばしたまま、手でつま先を触るようにして体を倒します。太ももの裏の筋肉が伸びてきます。この時、膝が曲がったり、つま先が伸びたりしないように気を付けると効果的です。
- 片方の膝を曲げ、足先をお尻の方に持ってきます。そうすると、太ももの前側の筋肉が伸びてきます。

但し、筋肉を痛める危険があるので、息を吸うときは無理して伸ばさず、息を吐くときにゆっくりと筋肉を伸ばすようにしましょう。深呼吸しながら行うのがポイントです。ストレッチする時間は一回20秒間です。深呼吸が難しい方は20まで声を出して行うだけでも息を吐きながらストレッチできますのでおすすめです。

### 足の運動

運動は椅子に腰かけて行います

- 足踏みをしてみましょう。これにより、股関節の周りの筋肉を動かします。
- 片方の膝を伸ばして、つま先を上げ下げしたり、足の指を握ったり開いたりすると、膝の周りやふくらはぎの運動になります。

これを、10~20回を1セットとして、2~3回繰り返すだけでも、ちょっとした運動になります。

このような適度な運動を心掛け、夏の冷えを解消しましょう!



# 医療公開講座のお知らせ

当院では毎月「医療公開講座」を開催しています。

病気、お薬、食事、運動、医療費など、様々な内容で少しでもみなさまのお役に立ちたいという  
思いから情報発信しています。

今後も下記の日程・内容で講座を行いますので、みなさまふるってご参加ください。

日付	内 容	講 師	場 所
平成30年 8月8日(水) 15:20~16:00	「健康をかんがえる」 ～誤嚥性肺炎の予防方法～	言語聴覚士 松本 綾佳	春日部中央公民館
平成30年 8月15日(水) 15:00~16:00	「間食習慣」 ～夏に気をつけて欲しいポイント～	管理栄養士 加藤 優美	春日部中央総合病院
平成30年 8月29日(水) 15:00~16:00	「お薬の基本」 ～知っておいて欲しいこと～	薬剤師 工藤 直人	春日部中央総合病院



参加の申し込みは、総合受付または地域医療連携室へお声掛けいただくか  
こちらの番号へお問い合わせ下さい。

春日部中央総合病院 地域医療連携室  
TEL 048-736-1221 (代表)



## IMS グループからのお知らせ

### 医療・介護のことでお悩みはありませんか？

イムス総合サービスセンター（イムス GS センター）は、病院選びに困った際にご利用いただける病院相談窓口です。  
皆さまからの医療・介護のご相談をお受けいたしますので、  
お電話かホームページ（メールフォーム）よりお問い合わせください。

受付時間 平日／8:30～17:30 土曜日／8:30～12:30  
(日祝・年末年始休み)

 0800-800-1632

メールでも病院受診相談をお受けしています。右メールフォームをご利用ください。



イムス総合サービスセンターのサービス内容や、IMS グループの最新情報を WEB サイトでご覧いただけます。

<http://www.ims.gr.jp/gscenter/>

〒170-0013 東京都豊島区東池袋1-21-11 オーク池袋ビルディング 9F

IMS グループ 医療法人財団 明理会  
**春日部中央総合病院**

〒344-0063 埼玉県春日部市緑町 5 丁目 9 番 4 号

**TEL:048-736-1221 FAX:048-738-1559**

<http://www.kasukabechuo.com>

## 編集後記

暑い日が続きますが、皆様いかがお過ごしでしょうか。夏休みでお出かけになる方も多いと思いますが、日差しにさらされる環境で活動をするときなどは、こまめな休憩・水分をよくとるようにしましょう。熱中症や体調管理に十分気を付け、良い夏をお過ごしください。

### 認定施設

厚生労働省臨床研修指定病院／日本医療機能評価機構認定病院／日本内科学会認定医制度教育関連施設／日本循環器学会認定循環器専門医研修施設／日本清血管インター・ペンション治療学会研修施設／日本不整脈学会・日本心電学会認定不整脈専門医研修施設／腹部大動脈瘤ステントグラフト実施施設／胸部大動脈瘤ステントグラフト実施施設／日本外科学会外科専門医制度修練施設／日本消化器外科学会専門医制度修練施設／日本整形外科学会専門医研修施設／日本脳神経外科学会専門医認定期制指定訓練施設／日本泌尿器科学会認定専門医教育施設／日本透析医学会専門医制度教育関連施設／日本静脈経腸栄養学会 NST 稼働施設／日本麻醉科学会麻醉科認定病院／看護大学・専門学校実習病院